

美里町

柳友会



# 大柳獅子舞

昭和6年に岩手県気仙<sup>けせん</sup>地方出身の宮大工である細川徳一郎氏が旧南郷町大柳地区に移り住みました。地域の白山神社<sup>はくさん</sup>になぜか奉納されていた獅子頭を見て、気仙地方の獅子舞を大柳地区の青年たちに教えました。厳しい稽古を積んだ後、白山神社に奉納されるとともに、<sup>いんれきまつ</sup> 陰曆松の内には神輿と<sup>うち</sup>ともに貧富の別なく地



区内を練り歩き、舞回られるようになりました。五穀豊穰を祈るとともに、家々の門口で親と一緒に立つ子供たちの頭を噛み、無病息災を祈念しました。

戦争により途絶えてしまいましたが、昭和50年に「大柳女獅子舞柳友会<sup>おんなししまいりゅうゆうかい</sup>」として復活。その後、現在まで続く大柳獅子おどり「柳友会」が発足しました。現在は、次代を担う若手の育成が急務となっています。

